

第2次津市地域公共交通網形成計画に掲げる事業の令和5年度実績に対する評価等について

基本方針1：地域をつなぎ、住みやすいまちづくりを実現する公共交通網の構築

数値目標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	数値目標（令和7年度）
目標1	広域移動の確保	1-1	■市内の鉄道駅での乗車数	17,996,536人/年	13,337,553人/年	14,211,454人/年	15,548,264人/年	17,900,000人/年

目標		数値目標	評価項目	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	数値目標（令和7年度）
目標1	広域移動の確保	1-2	■航路の利用者数	25,217人/年	27,220人/年	91,474人/年	161,741人/年	300,000人/年
		1-3	■一般路線バス（幹線・準幹線）の利用者数	2,164,502人/年	2,037,012人/年	2,282,498人/年	2,746,136人/年	2,900,000人/年

確認指標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	数値指標（令和7年度）
目標1	広域移動の確保		■補助対象の一般路線バス（幹線・準幹線）の収支率				52%	51%

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和5年度取組状況 （計画期間4年目）	評価	令和6年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標1	広域の移動の確保	事業1-1	鉄道の利便性向上の要請	鉄道事業者へダイヤ改正や増便、利便性の向上に資する施設整備等を働きかける。			継続実施				津市、三重県	三重県鉄道網整備促進期成同盟会を通じJR東海に対し、交通系ICカード利用エリアの拡大、バリアフリー化等駅設備をはじめとした要望を行った。	○	今後も引き続き、利用者から寄せられる鉄道の利便性向上に係る意見等を整理し、必要に応じて事業者への要望を行う。
		事業1-2	一般路線バス（幹線・準幹線）の維持	計画において定めるサービス水準での運行継続に努めるとともに、利用が少ない路線については、代替手段を講じるなどして移動手段の確保に努める。			継続実施				三重交通、津市、三重県	計画において定めるサービス水準をおおむね維持した。 また、利用実績の少ない穴倉線を対象に、津市において利用促進を行った。	○	今後も引き続き、利用実績の少ない穴倉線を対象に、津市において利用促進を行う。
		事業1-3	隣接自治体との連携	隣接自治体への乗入路線について、当該自治体と連携し、維持及び活性化に努める。			継続実施				津市、三重県	隣接自治体への乗入路線のうち、自主運行バス亀山線においては亀山市と連携し令和5年12月に利用促進チラシを広報と同時配布し、さらに芸濃中学の保護者懇談会でもチラシの配布を行った。また一般路線バスの津太陽の街線においては鈴鹿市と連携し、利用促進のチラシの配布を行い路線の維持及び活性化に努めた。	○	今後も引き続き、利用促進チラシの配布を行い、路線の維持及び活性化に努める。
		事業1-4	航路の維持・向上	情報発信等のPR事業により、航路を活用した観光振興への取組を推進する。			継続実施				津エアポートライン 津市、三重県	旅客船ターミナル見学会及びオリジナルエコバックを作成することができるワークショップを内容とした津なぎさまちフェスタの開催によりPRを行った。併せて、ホームページやFacebookを活用してイベント情報の発信を行った。	○	令和6年度においても、本市のイベント等においてPR活動等を行い利用促進を行う。

令和5年度の実施状況に対する評価の凡例

○：計画通り実施
△：一部実施、内容を変更して実施・実施したものの計画に定める水準を満たしていない
×：未実施

数値目標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度実績	数値目標（令和７年度）
目標２	日常生活における移動の確保	2-1	■一般路線バス（市内線）の利用者数	534,525人/年	499,393人/年	522,236人/年	899,200人/年	740,000人/年
		2-2	■コミュニティバス等（支線）の利用者数	92,672人/年	75,307人/年	83,655人/年	87,448人/年	110,000人/年

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和５年度取組状況 （計画期間４年目）	評価	令和６年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標２	日常生活における移動の確保	事業２-1	一般路線バス（市内線）の維持	計画において定めるサービス水準での運行継続に努める。	継続実施						三重交通	計画に定めるサービス水準をおおむね維持した。	○	今後も引き続き、運行事業者と情報共有を密にし、必要に応じて利用実績の少ない路線の利用促進を行うことで、路線の維持及び活性化に努める。
		事業２-2	コミュニティバス等（支線）の維持	コミュニティバスを運行し、日常生活に必要な移動手段を確保するとともに、鉄道、一般路線バスと接続させる。	継続実施						津市、バス事業者	コミュニティバスの運行を維持することで、鉄道や一般路線バスのサービスを享受することができない地域について、通院や買い物等の日常生活に必要な移動手段を確保するとともに、鉄道及び一般路線バスへの接続を確保した。	○	今後も引き続き、利用状況の把握に努め、適宜運行時刻や路線を見直しながら、運行を継続する。
		事業２-3	各種施設への乗り入れ	要望があった場合は需要を精査した上で大型商業施設や公共施設等への乗り入れを行う。	随時実施						津市、バス事業者、関係施設	令和５年１０月１日に「ぎゅーとらラフリース居店」へ、令和６年２月１５日に「湯の瀬」へ乗り入れを行った。	○	令和６年１０月１日に「明合公民館」に乗り入れを行う。 今後も、必要に応じて施設への乗り入れを検討、実施する。
		事業２-4	新たな交通サービスの研究	人口が減少する中で、鉄道、航路、乗合バス、タクシーといった既存の交通手段だけでなく、新たな交通手段の導入が必要となる可能性があることから、オンデマンド交通やカーシェア等の新たな交通サービスについて研究する。	随時実施						津市	コミュニティバスの次期再編に向けて、健康福祉部と連携しながら、新たな移動支援策の課題、問題点を分析し、津市に適した移動支援策を研究し、市全域を見据え、これまでのコミュニティバスに替わり、本市の特性に応じた「津市のデマンド型交通」を導入する検討を行った。	○	令和６年度に市内３地域にてデマンド型交通導入に向けた実証実験運行を実施し、課題や問題点の検証に取り組む。

基本方針2：地域ニーズと持続性を両立させた公共交通サービスの提供

確認指標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	数値指標（令和7年度）
目標3	バス路線の運行効率化	事業3	■公共交通に係る市負担額				1億7,218万円	1億6,499万円

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和5年度取組状況 （計画期間4年目）	評価	令和6年度以降の方向性	
					R2	R3	R4	R5	R6	R7					
目標3	バス路線の運行効率化	事業3-1	自主運行バス（廃止代替バス）の見直し		7路線の自主運行バスについて、利用実態や地域特性を踏まえ、「移動ニーズ・利用実態の反映」、「他交通機関との役割分担の整理」、「地域特性の考慮」の3つの方向性に基づき見直しを実施する。。	見直し		随時実施				津市	令和3年4月1日付けで、計画に示す3つの方向性に基づき7路線から4路線に見直しを行っており、令和5年度は新たな路線での利用状況の把握に努めた。	○	新たな路線での利用状況の把握に努めながら、適宜運行時刻や路線の見直しを行う。
		事業3-2	津市コミュニティバスの再編		より効率的かつ利便性が高いものにするため、「移動ニーズ・利用実態の反映」、「他交通機関との役割分担の整理」、「地域特性の考慮」の3つの方向性に基づき、令和2年度に再編を、令和3年度以降においては随時見直しを実施する。	再編		随時見直し				津市	計画に定める3つの方向性に基づき、令和3年4月1日付けで再編を行ったコミュニティバスの運行について、地域からの要望等を受け、令和5年8月10日に北部地域及び南西部（一志）地域、同年10月1日に南部地域、北西部（芸濃）地域、北西部（安濃）地域、南西部（美杉）地域の運行変更を行った。	○	令和6年度においては地域からの要望等を受け、北部地域、南部地域、北西部（安濃）地域の運行変更を行う。 今後も引き続き、新たな路線での利用状況の把握に努めながら、適宜運行時刻や路線の見直しを行う。
		事業3-3	乗り継ぎ拠点の設定	ダイヤ設定	鉄道に合わせた一般路線バス並びに鉄道及び一般路線バスに合わせたコミュニティバス等のダイヤを設定し、乗り継ぎを確保し、案内の充実を図る。			継続実施			津市、三重交通、 その他交通事業者	令和3年4月1日付けで乗り継ぎに配慮した見直し及び再編を実施した自主運行バス及び津市コミュニティバスについては、運行変更を行った際にも、鉄道及び一般路線バスに合わせたダイヤ設定を行い乗り継ぎを確保した。 また、運行ダイヤと合わせコミュニティバスと一般路線バス、鉄道及び他のコミュニティバスとの接続状況が分かる乗り継ぎ案内を作成し、各戸配布した。	○	ダイヤ変更については、運行事業者間での情報共有を密にし、乗り継ぎが確保されるよう努めるとともに、利用者への最適な案内についても随時行う。	
				案内の充実		案内作成		時点更新							
		事業3-4	住民主体型の移動手段の推進		地域住民が運営主体となり運行する地域の実情に応じたデマンド型交通等のコミュニティ交通に対し、補助金を活用した支援を行う。			随時実施				津市	事業を継続実施している上佐田自治会及び高松山団地自治会について、補助金の交付を行った。	○	令和6年度については、申し出のあった上佐田自治会及び二俣区での運行を廃止し、運行を継続する高松山団地に対し支援を行うとともに、広報誌等で制度の周知を行う。

基本方針3：利用促進につながる移動環境の提供

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和5年度取組状況 (計画期間4年目)	評価	令和6年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標4	快適な移動環境の整備	事業4-1	待合環境等の整備	公共交通に係る車両のバリアフリー化及びバス停における待合環境の整備に努める。 また、鉄道駅においても、駅舎のバリアフリー化を始めとした、待合環境整備に努める。	●●●									

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和5年度取組状況 (計画期間4年目)	評価	令和6年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標5	公共交通に関する情報の管理と提供	事業5-1	バスロケーションシステムの充実		バスの位置情報を把握できる「バスロケーションシステム」の導入及び対応エリアの拡大等を進める。	</								

基本方針4：市民による自発的な行動の促進

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業		事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和5年度取組状況 (計画期間4年目)	評価	令和6年度以降の方向性
					R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標6	公共交通を担う人材の育成	事業6-1	運転手不足への対応	社会問題になっているバスの運転手不足への対応として、交通事業者においては、積極的な採用活動を継続し、津市においては、運転手不足の実情について情報の発信に努める。			継続実施				交通事業者、津市	交通事業者において新規採用に係る説明会等積極的に活動を行なった。 また、録音された担当者の説明を聞くことができる「ナレーション資料請求」や「オンラインお仕事説明会」など、インターネット上でも活発な情報発信を行った。	○	今後も引き続き、交通事業者において積極的な採用活動を実施する。津市において、必要に応じて広報等の媒体を活用し、運転手不足の実情について情報発信する。
		事業6-2	住民主体型の組織設立支援	「地域公共交通あり方検討会」にて、地域住民が積極的に参画できる体制を整えるとともに、住民主体型の組織の設立等の希望があった場合は、実例や各種制度の情報提供等の支援を行う。			継続実施				津市	各地域で「地域公共交通あり方検討会」を開催し、地域公共交通に対する地域住民の意見を聴取した。	○	今後も引き続き、「地域公共交通あり方検討会」を開催し、地域住民の意見を聴取し、コミュニティバスの運行変更を行う等、地域公共交通の見直しを行っていく。また、今後住民主体型の組織の設立等の希望があった場合は、実例紹介や各種制度の情報提供等の支援を行う。

数値目標達成度の評価

目標		数値目標	評価項目	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	数値目標（令和7年度）
目標7	公共交通に関する市民の意識向上	7-1	■モビリティ・マネジメントや利用促進イベント等実施数	3回/年	4回/年	9回/年	9回/年	7回/年

事業の実施状況の評価

目標		目標を達成するために実施する事業			事業の概要	実施スケジュール						実施主体	令和5年度取組状況 (計画期間4年目)	評価	令和6年度以降の方向性
						R2	R3	R4	R5	R6	R7				
目標7	公共交通に関する市民の意識向上	事業7-1	JR名松線の活性化	案内整備	通学、通院、買い物等の日常生活における移動に加え、「JR名松線そのもの」を観光資源と位置づけ、他の観光資源との連携を図るなどし、美杉地域を始めとした沿線地域の活性化を目指す。							津市、三重県、 その他交通事業者	令和3年度に作成したJR名松線沿線の観光地情報を発信するための専用HPを活用し、インターネット上のデジタル広告の配信によりPRを実施した。 また、イベントでの名松線写真パネル展示や利用促進グッズの配布によりPRを行った。	○	令和6年度は、引き続きイベントやインターネットを活用し、沿線観光地等のPRを実施していく。
				情報提供				継続実施							
		事業7-2	利用促進イベントの実施		公共交通の利用を促進するため、イベントを実施する。			継続実施				津市、三重県、 中部運輸局、 三重交通	令和5年度は、津まつりにおけるお絵かきバスやバスの乗り方教室等のPRイベント、9月20日の「バスの日」には利用啓発活動を行った。	○	今後も引き続き、津まつりにおけるお絵かきバスやバスの乗り方教室等のPRイベントや9月20日の「バスの日」利用啓発活動を行う。
		事業7-3	広報紙やホームページ等による広報		公共交通の利用を促進するため、広報紙及びホームページ等で公共交通に関する情報を提供する。			継続実施				津市、三重交通、 その他交通事業者	各実施主体において、継続して情報の提供を行った。特に、コミュニティバスについては、運行変更の実施に際し利用者への周知を徹底した。	○	今後も引き続き、各実施主体において、継続して必要な情報の提供を行う。 特に、コミュニティバスの運行変更時には、運行変更チラシを広報紙と同時配布するなど、広く利用者への周知を行う。
		事業7-4	モビリティ・マネジメントの実施		WEBサイトを活用した啓発活動を引き続き実施するとともに、民間企業、学校、高齢者向けイベント等と連携し、対象を明確化したモビリティマネジメントを実施する。			継続実施				津市、三重県	令和5年度は4年度に実施できなかったバスの乗り方教室を津まつりにおいて実施した。	○	今後も引き続きイベントと連携するなどして、バスの乗り方教室等のモビリティマネジメントを実施する。
		事業7-5	運転免許証返納に対する支援		各交通事業者において、運転免許証自主返納者を対象とした割引制度を引き続き運用するとともに、当該制度や高齢者外出支援制度（シルバーエミカ）をチラシやホームページ等で周知する。			継続実施				津市、三重県、 三重交通、 その他交通事業者、 三重県警察	三重交通において割引制度を、また津市において高齢者外出支援制度（シルバーエミカ）を引き続き実施するとともに、割引制度等の取組をチラシやホームページ等で周知した。	○	三重交通において割引制度を、また津市において高齢者外出支援制度（シルバーエミカ）を引き続き実施するとともに、割引制度等の取組をチラシやホームページ等で周知する。